定を支持して、靜觀する態度をとつた。元來無產政黨の離合集散が一選擧戰の結果に依つてなされ得る如く、しかく容易なるものにあらず。各々主義主張を異にする黨が、一夜に合同するもそれは決して力を强大ならしむるものにあらずして。合同前の對立鬪爭をして內部鬪爭に激化するものである。我等は信賴に足る組合、若しくは黨との合同に依つてのみ眞に合同の精華を揭げ得る事を確信するが故に敢て靜觀したものである。

要するに過去一ケ年は、例年に比して一層鬪爭の激甚なる年であつた。思ふ所多くしてなす事の少なかつた事を遺憾とするものであるが、鬪爭の跡に確固たる足跡を殘しつゝある事は確く信するものである。今や日本の勞働組合運動は、重大なる時期に立つて居る。資本家階級は不況と共に益々尖銳化したる搾取手段を以つて、勞働階級の犧牲を强要しつゝある。然るに勞働組合の現狀は如何、幾百萬の未組織勞働者は途を求めてさまよひつゝあるに拘らず。一部左翼主義者は、彼等一流の病的行動に依つて勞働組合運動を破壞と混亂に陷入れしめて居る。豫ては我等に對して分裂主義者なりと惡罵をあびせたる彼等自らが四分五裂して相爭ふの醜狀を暴露して居るではないか。

我等は我が日本勞働總同盟の堅く把持する現實主義に立脚して勇往邁進し、眞に勞働階級の信賴に足る組合たらしむべく一層の奮鬪努力を切望してやまないものである。

昭和五年九月

日本勞働總同盟
東京鐵工組合
組合長　內田藤七

所屬支部一覽表

支部名	創立	支部長	會計	事務所
大崎第一支部	大正十五年九月	藤本光幸	同	府下大崎町居木橋一四八
大崎第二支部	昭和四年九月	名倉有年	鈴木門一	府下大崎町桐ケ谷七一四　高田染之助方
大崎第三支部	大正十五年九月	眞下雅次	須川政治	府下淺谷町新橋六五　眞下雅次方
大崎第五支部	大正十四年五月	野中邦司	同	府下荏原町中延一〇一六　野中邦司方
大崎第六支部	大正十三年五月	佐藤信之助	持田芳雄	府下北品川釜ケ崎四八九　岡部電氣工場內
大崎第十支部	昭和五年三月	藤本秀丸	齋木政男	府下南品川苗木原一二五八　藤本秀丸方
大崎第十一支部	昭和元年八月	岡本朝一	篠崎晃	府下下大崎三八八　高砂工業株式會社內
品川第一支部	大正十四年六月	西島寒次	狩野利根吉	府下南品川東廣町五八一　中島電氣工場內
品川第二支部	昭和三年二月	石崎保治	同	府下荏原町戸越一〇七六　石崎保治方
三田第二支部	大正十五年十一月	鈴木瀧次郎	同	府下池上町堤方一八〇　鈴木瀧次郎方